

運輸安全マネジメント

「安全最優先」

五稜バス（株式会社 五稜）

令和2年4月1日
五稜バス(株式会社 五稜)

令和元年度運輸安全マネジメントに関する取り組み (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

五稜バスは、輸送の安全を確保するために、下記の安全方針に則り、安全意識向上を図り全従業員が一丸となり事故防止に最善を尽くします。

「安全最優先」

我が社は、輸送の安全確保が事業経営の根幹であることを認識し、法令及び諸規則を遵守し、お客様に『安全』を提供し、『安心・快適』を感じていただけるよう、日々、安全性の向上に努めます。

1 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。
- (2) 社長は、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、全従業員に対し輸送の安全が最も重要であるという意識を徹底させます。
- (3) 輸送の安全に関する計画の策定 (Plan)、実行 (Do)、確認 (Check)、改善 (Act) を確実に実施し、安全対策を不断に見直し、全従業員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。また、輸送の安全に関する情報については、記録し保存し、積極的に公表いたします。

2 輸送の安全に関する重点施策

- (1) 全従業員に、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守いたします。
- (2) 輸送の安全に関する費用支出及び投資ならびに人員配置等を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置または予防措置を講じます。
- (4) 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内においてヒヤリ・ハット情報や安全方針等を掲示板に掲載し、必要な情報を速やかに伝達し、共有いたします。

- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施いたします。
- (6) 当社は、関係業者と密接に協力し、一丸となって輸送の安全性の向上に努めます。

3 輸送の安全に関する目標

令和2年度目標

区 分	目 標
重大事故	0件
物損事故	0件
車内事故	0件
車両故障	0件
飲酒・酒気帯び運転（確実な点呼の実施）	0件

4 輸送の安全に関する計画

(1) 教育・指導計画

- ア 年間教育計画に則った事故防止教育を実施いたします。（別紙-1）
- イ 役員または安全統括管理者による立会点呼、及び街頭指導教育を年2回実施いたします。
- ウ 自動車事故対策機構による適性診断、初任診断を確実に実施し、診断結果に伴う個別指導教育を行います。
- エ 新任運転士に対する教育をカリキュラムに則り実施いたします。
- オ 事故惹起者に対する特別教育を行います。
- カ 走行訓練（一般道・高速道路・山岳道路・冬山において昼/夜間）適宜実施いたします。
- キ 重大事故や大規模災害発生時を想定した避難訓練を年1回実施いたします。
- ク 安全統括管理者及び運行管理者に対し、国土交通省による運輸安全マネジメントに関する講習を受講いたします。
- ケ 自動車事故対策機構による運行管理者基礎講習及び運行管理者選任前講習並びに一般講習を受講いたします。
- コ 国土交通省による整備管理者講習及び整備管理者選任前講習を受講いたします。
- サ 労働基準監督署による安全運行及び労務管理に関する講習を受講いたします。
- シ 外部講師による講習等（低燃費走行・事故防止・健康管理・救命救急等）を行います。
- ス ヒヤリ・ハットの収集・分析及び、ドライブレコーダーを使用した教育研修を行い、視覚効果を用いた研修を行います。
- セ デジタルタコメーターを活用した個別指導教育を随時実施いたします。
- ソ 飲酒運転撲滅に向けた教育及び点呼時のアルコール検知器によるアルコール検査を厳正に実施いたします。
- タ 健康診断結果の把握と個別指導を行うとともに、健康管理に関する事故防止対策「事業用自動車の運転者の健康管理に係るマニュアル」の基づいて、適切な健康管理を行うよう個別教育いたします。

- チ 麻薬、覚醒剤、脱法ハーブ等薬物使用防止について、指導教育の徹底を図ります。
- ツ 運転記録証明書の取得を毎年実施し、法令違反等の確認及び安全教育を実施いたします。
- (2) 事故防止啓蒙活動
 - ア 春の全国交通安全運動
 - イ 夏季の自動車輸送安全総点検
 - ウ 秋の全国交通安全運動
 - エ 年末年始輸送安全総点検
 - オ 無事故表彰を一定期間継続して無事故で他の模範となる運転士に対して、毎年の表彰を行います。
- (3) 委員会の開催（年2回開催し必要に応じ随時開催する）
 - ア 事故防止対策委員会は交通事故の撲滅を目的に事故の事例等を分析検証し再発防止、未然防止を図ります。
 - イ 安全対策委員会は輸送の安全に関する調査研究を行い計画の策定、実行、確認及び改善を図ります。
- (4) 内部監査（年1回実施）

5 輸送の安全に関する予算

- (1) 新車導入（大型1台 4,000万円）
- (2) ドライブレコーダー・車両動態管理システム導入（新車1台分 23万円）
- (3) 一般運転士の適性診断費用（18名 10万円）
- (4) 安全運転中央研究所での研修費用（2名 25万円）

6 輸送の安全に関する情報の連絡体制及び指揮命令系統

- (1) 組織図（別紙-2）
- (2) 緊急連絡図（別紙-3）

7 安全統括管理者

若月 直子

8 安全管理規程

五稜バス 安全管理規程（別紙-4）